

国際関連情報 国際会議等

ドイツ会計基準委員会(DRSC) 創立 20 周年式典の報告

かわにし やすのぶ
ASBJ 常勤委員 川西 安喜



2018年7月2日にドイツ会計基準委員会(Deutsches Rechnungslegungs Standards Committee e. V.; DRSC) 創立 20 周年式典がドイツのベルリン市内で開催された。約 200 名が出席し、企業会計基準委員会 (ASBJ) からは筆者が出席した。

式典は「財務報告一起業家の行動と社会的変化の間で」と銘打ち、ドイツ語で行われた(英語による同時通訳が提供された)。

式次第は次のとおりであった。

- 来賓による挨拶
 - Dr Prof Dieter Truxius (理事会副議長、マンハイム大学)
 - Dr Katarina Barley (ドイツ連邦司法・消費者保護大臣)
 - Mr Jean-Paul Gauzès (欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) ボード議長)

- キーノート・スピーチ
 - Ms Melanie Kreis (Deutsche Post DHL CFO)
- 価値の変化に関するパネル・ディスカッション「ESG 情報を要求することによる行動の変化—財務報告書の境界線はどこか?」
 - 【司会】
Prof Andreas Barckow (DRSC President)
 - 【パネリスト】
Prof Dr Hirbert Hirte (ドイツ連邦議会議員)
 - Ms Dagmar Steinert (Fuchs Petrolub SE CFO)
 - Ms Johanna Kusch (Germanwatch e.V.)
 - Prof Klaus-Peter Naumann (ドイツ経済監査士協会 CEO)
- 技術の変化に関するパネル・ディスカッション「デジタルによる報告 vs. デジタル時代における報告」
 - 【司会】
Prof Andreas Barckow (DRSC President)
 - 【パネリスト】
Mr Hans Hoogervorst (国際会計基準審議会 (IASB) 議長)
 - Ms Roxana Damianov (欧州証券市場監督局 (ESMA))
 - Prof Christoph Hütten (SAP SE 最高会計責任者 (CAO))
 - Prof Alfred Wagenhofer (グラーツ大学)
- 閉会の挨拶

式典では、出席者の間でコミュニケーションが取れるよう、休憩時間が長めにとられた。

なお、本式典に EFRAG ボードのメンバーが招待されたことに合わせ、式典の翌日にベルリン市内で EFRAG ボードの会議が行われた。